

10 故事成語

組	
番号	
氏名	

次の①～④の故事成語について、それが生まれるもとになった故事をA群のA～Eから、意味をB群のa～dからそれぞれ選び解答欄に記号で書きなさい。

また、①～④の故事成語の中から一つを選び、短文を作りなさい。

故事成語：①

杞憂きゆう

②

推敲すいこう

③

四面楚歌しめんそか

④

螢雪の功けいせつ

A群

ア 昔、中国の賈島かとうという詩人が詩を作っていたとき、「僧は推す月下の門」という句が浮かんだが、「推す」がよいか「敲く」がよいか悩みながら道を歩いているうちに官吏かんりの韓愈かんゆの一行にぶつかってしまった。詩人でもある韓愈はいきさつを聞き、「敲く」の方がよいと助言した。

イ 晋しんの時代、勉強家の車胤しゃいんは、貧しかったために夏は螢ほたるの光で読書をし、同じく孫康そんこうは冬には窓辺の雪明かりで勉強し、ともに立派な人物となった。

ウ 昔、杞きの国で、天が崩れ落ちてこないかと心配するあまり、寢食しんじよくも忘れてしまった人がいた。

エ 項羽こううの軍が漢の劉邦りゅうほうの軍に包囲されてしまった。夜、劉邦は部下に一斉に項羽の出身地である楚その国の歌を歌わせた。これを聞き、楚の人々が歌っていると思いきんだ項羽は、楚の地がすっかり漢のものになってしまったと落胆らくたんし、覚悟を決めた。

B群

- a 取り越し苦労。
- b 文章の字句を何度も練り直すこと。
- c 周りがみな敵で、味方がいないこと。
- d 苦学し、熱心に学んだ成果。

短文を書きましよう

(例①) 復習していないところが試験に出たらどうしよう
と心配していたが、杞憂に終わった。

(例②) 担任の先生に、放送原稿の推敲したものを見ていただいたら、
「これをお願いします」と言われうれしかった。

(例③) 兄はたくさん強いチームがひしめく地区でスポーツを続けて
いるが、「四面楚歌で大変だ」と言っていた。

(例④) 姉は猛勉強をして、志望していた高校に合格したが、父はそんな
姉のことを「螢雪の功」が実を結んだ、と褒めていた。

調 他の故事成語も調べてみよう。

- ・ 臥薪嘗胆 (がしんしょうたん)
- ・ 画竜点睛 (がりようてんせい)
- ・ 呉越同舟 (ごえつどうしゆう)
- ・ 完璧 (かんぺき)
- ・ 五十歩百歩 (ごじっぼひゃっぼ)
- ・ 塞翁が馬 (さいおうがうま)
- ・ 朝三暮四 (ちようさんぼし)

④	③	②	①		解答欄
イ	エ	ア	ウ	A群	
d	c	b	a	B群	